



初日でもありませんので、午前中に4人の議員の一般質問を聞く事が出来ました。市長

の答弁は市民にも分かりやすいものでしたが、職員の間で聞かせるのも難しく読み上げるのみでした。議会だよりは19号にもなっており、編集委員のご苦勞を推察いたします。13号からは議会を傍聴してのコラムが設定され、鴻巣市議会と市民がより近づいてきたように思えますが、14号から18号では同様の意見です。市民の意見は弱いものですが、同じ意見にご対処を。津久井精治さん(本町在住)

議会を傍聴して

職員の答弁は、やさしくゆっくりと

鴻巣市長選の最中は、あらぬニュースが乱れ飛んでいました。これを聞き正すには9月議会での、原口市長からの表明や議員からの質問への答弁を聞かなければならないと、私は初めて傍聴席に入りました。

意見書

県議会議員選挙の選挙区の改正を求める意見書 (採 択)

平成17年10月1日、鴻巣市と合併した旧川里町は、平成19年4月8日に執行された県議会議員選挙で1回目の特例に基づき、東4区として行われた。その後、平成22年3月23日に旧加須市、旧騎西町、旧北川辺町、旧大利根町が合併し新加須市が誕生した。

現在、加須市の選挙区は、東3区(旧加須市)、東4区(旧川里町、旧騎西町、旧北川辺町、旧大利根町)の2区となっている。

しかしながら、平成17年10月1日に鴻巣市と合併した旧川里町は平成19年4月8日に県議会議員選挙を特例で執行しており、平成23年4月執行予定の選挙は2回目の特例となる。

既に、鴻巣市議会議員選挙、鴻巣市長選挙も行っていることから、鴻巣市を1つの選挙区とすることが市民の公平な選挙権の行使にとって必要不可欠と考える。

早急な選挙区の見直しを強く求める。

記

- 1 次回以降の県議会議員選挙については、鴻巣市の全域を同一の選挙区とすること

陳 情

核も戦争もない平和な21世紀を目指す要望書

世界には未だに多くの核兵器が存在しています。そうした中、今年4月、アメリカ・ロシアで新核軍縮条約調印で「核兵器なき世界」への一歩が進みました。また、オバマ政権は、「核態勢の見直し」を発表し「核不拡散条約」遵守という条件付きで「核兵器の基本的な役割は核攻撃への抑止である」とし「非核兵器保有国」を核兵器では攻撃しないと宣言しました。

広島・長崎を襲った原爆投下の悲劇から65年、放射線の後遺症に苦しむ方々や、被爆2世・3世への健康被害など、未だに原爆の爪あとが残された状態にあります。

核も戦争もない平和な21世紀を目指すために、下記の事項につきましてご協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

記

- 一、「非核・平和都市宣言(決議)」実施自治体として、平和行政諸施策の推進に向けて努力していただきたい。
 - 一、国の基本方針である「非核3原則」を遵守する観点から、核兵器廃絶に向けて努力することを、国に要請していただきたい。
 - 一、国家補償の精神にもとづく「原子爆被爆者に対する援護に関する法律」のさらなる充実・改善を実施するため、政府への働きかけを行っていただきたい。
 - 一、核兵器の全廃をめざす平和市長会議の「2020ビジョン」に賛同していただきたい。
 - 一、戦争の惨禍を再び繰り返さないために、憲法を暮らしに生かした平和行政を一層発展させていただきたい。
 - 一、住民保護の観点から、自治体への戦争協力を求める「有事法制関連法」の発動に反対の意向を示していただきたい。
- 以上、要望いたします。

表紙によせて



開催時間は、12月までは8時から11時です。生産者の顔が見える新鮮な野菜・果物・花などを、お安く販売しています。

編集委員会

委員 長	野 本 恵 子
副委員 長	潮 田 幸 子
委員	斎 藤 忠 司
菅 野 博 子	
船 田 敏 子	
長 嶋 貞 子	
秋 谷 真 造	
金 澤 孝 太郎	

(長嶋 貞造)

と多くの市民の皆様、議会を傍聴していただき、生の議事を自分の目・耳・肌で感じ取っていただきたく思います。叱咤・激励のご意見・ご要望がありましたら、お気軽にお寄せください。

今年の夏は、例年になく暑く、猛暑くで大変厳しい日々でした。地球温暖化といわれていますが、それが影響しているのでしょうか。

鴻巣市では、広報や防災無線などで熱中症に対して注意を呼びかけていましたが、入院する方が多くいらしたようです。猛暑のため野菜等の生育に支障があり、私達の生活の中にその影響が感じられました。

